

# 委員会活動計画書

委員長 大木幸子

<b>【委員会名】</b> 教育課程委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎大木幸子（杏林大学）、○岩本里織（神戸市看護大学）、*佐伯和子（前北海道大学）、 下山田鮎美（東北福祉大学）、鈴木 美和（淑徳大学）、滝澤 寛子（京都先端技術大学）、 波田弥生（神戸市看護大学）、橋本文子（徳島文理大学）、平野 美千代（北海道大学） ◎;委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名、50音順	
<b>【活動方針】</b> ・公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討し、検討結果を公表・周知する。 ・看護師教育における地域看護学教育に関する検討結果を周知する。	
<b>2019年度</b>	
<b>達成目標</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 親子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する。</li><li>2. 母子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討結果の公表・周知する。</li><li>3. H28年度に検討した看護師教育における地域看護学教育に関する検討結果について周知をはかる。</li><li>4. 保健師教育の動向や社会情勢を踏まえて課題の整理を行う。</li></ol>
<b>活動計画</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員会開催<ol style="list-style-type: none"><li>① 親子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化について検討する。</li><li>② 検討結果についての公表、周知方法を検討する。</li><li>③ 厚生労働省、文部科学省における検討会の動向について情報交換を行う。</li></ol></li><li>2. 親子保健活動における公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する。<ol style="list-style-type: none"><li>① 保健師教育モデル・コア・カリキュラムを踏まえ、小地域への支援技術の検討および全項目の精緻化を行い、親子保健における公衆衛生技術の体系化を完了する。</li><li>② 上記の技術に関する基礎教育における教育方法について検討する。</li><li>③ 検討結果について公表し、周知を図る。</li></ol></li><li>3. H28年度に検討した看護師教育における地域看護学教育に関する検討結果について周知をはかる。<ol style="list-style-type: none"><li>① 全国保健師教育機関協議会のホームページにおいて上記の検討結果を公表し、周知を図る。</li></ol></li><li>4. 保健師教育の動向や社会情勢を踏まえて課題の整理を行う。<ol style="list-style-type: none"><li>① 厚生労働省、文部科学省における検討会の動向について情報収集を行う。</li></ol></li></ol>